

各 位

会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡
(J A S D A Q ・ コ ー ド 5 2 1 6)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 経 営 管 理 部 長 関 根 紀 幸
電 話 0 2 2 8 - 3 2 - 5 1 1 1

特別損失の発生及び平成 19 年 12 月期中間期・通期業績予想（連結・個別）の 修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 19 年 5 月 18 日付「平成 19 年 12 月期 第 1 四半期 財務・業績の概況（連結）」に発表いたしました平成 19 年 12 月期（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）の中間期及び通期の業績予想（連結・個別）を修正いたします。また、通期業績予想の修正に伴い期末配当予想につきましても修正させていただきます。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

- ① 「持分法適用会社株式の譲渡に関するお知らせ」（平成 19 年 6 月 6 日開示）にて公表しておりました、ドイツ SCHOTT 社との韓国合弁会社 SCHOTT KURAMOTO Processing Korea Co., Ltd.（以下 SKPK 社）の当社保有分株式（25%）の SCHOTT 社への譲渡に伴い、関係会社株式売却損を個別に 1,026 百万円、連結に 666 百万円計上いたします。
- ② SKPK 社向け技術構築用として導入しておりました大型ガラス基板加工設備について、技術構築が完了し今後の量産での使用見込みがないと判断したため、固定資産除却損を個別に 421 百万円、連結に 370 百万円計上いたします。
- ③ 当社保有の有価証券の売却に伴い、投資有価証券売却損を個別及び連結に 85 百万円計上いたします。
- ④ 当社から SKPK 社向け大型ガラス基板加工設備製造のための(株)倉元マシナリー（当社連結子会社）への貸付金回収が遅延しており、また当社から SKPK 社向けの立替金の回収も遅延しているため、貸倒引当金繰入額を個別に 201 百万円、連結に 53 百万円を保守主義の観点から計上いたします。
- ⑤ 磁気ヘッド製造販売事業において、得意先の事業譲渡に伴いヘルツ電子(株)（当社連結子会社）の一部の固定資産を減損処理し、連結に減損損失 162 百万円を計上いたします。

なお、「子会社の一部事業所閉鎖のお知らせ」（平成 19 年 4 月 5 日開示）にて公表しておりました(株)倉元マシナリー埼玉事業所閉鎖に伴う業績への影響額は、すでに前期末において減損損失を計上しているため、連結の特別利益に固定資産売却益 44 百万円を計上いたします。

2. 平成 19 年 12 月期中間期個別業績予想の修正（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）

〔個別〕

（単位：百万円）

	売上高	加工売上高※	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A) (平成 19 年 5 月 18 日公表)	10,000	5,200	100	0	0
今回予想 (B)	9,175	4,964	△ 437	△ 512	△ 1,995
増減額 (B-A)	△ 825	△ 236	△ 537	△ 512	△ 1,995
増減率	△ 8.3%	△ 4.5%	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 18 年 12 月期中間期)	12,172	6,349	△ 362	△ 133	△ 137

※「加工売上高」は、売上高から材料費を除いたもので利益との相関が高いため開示しております。

3. 平成 19 年 12 月期中間期連結業績予想の修正（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A) (平成 19 年 5 月 18 日公表)	14,000	150	0	0
今回予想 (B)	14,710	161	△ 106	△ 1,593
増減額 (B-A)	710	11	△ 106	△ 1,593
増減率	5.1%	7.3%	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 18 年 12 月期中間期)	16,912	△ 97	△ 110	△ 345

4. 中間期業績予想修正の理由

① 個別

当社の製品区分のうち、ITO 成膜並びにカラーフィルタ向け BM 用メタル膜等の〔成膜ガラス基板〕の受注が大幅に伸び悩んだため、全体の売上高で 825 百万円、加工売上高で 236 百万円の予算未達となる見込みであります。収益面におきましてはコスト削減が進んだものの、キャッシュ・フロー重視による棚卸資産の圧縮を併せて行った影響を受け、中間営業損失は 437 百万円に、中間経常損失は 512 百万円となる見込みであります。

また、上記 1.「特別損失の発生及びその内容」に記載の特別損失等を計上することとなったため、中間純損失は 1,995 百万円となる見込みであります。

② 連結

〔スプリング製造販売事業〕や〔精密研磨布等製造販売事業〕を中心に子会社業績は堅調に推移したものの、当社の業績悪化により、中間経常損失は 106 百万円、中間純損失は 1,593 百万円となる見込みであります。

5. 平成19年12月期通期個別業績予想の修正（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

〔個別〕

（単位：百万円）

	売上高	加工売上高※	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A) (平成19年5月18日公表)	21,000	11,000	500	350	350
今回予想(B)	19,500	10,500	200	0	△1,500
増減額(B-A)	△1,500	△500	△300	△350	△1,850
増減率	△7.1%	△4.5%	△60.0%	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成18年12月期)	22,964	11,952	△844	17	△3,878

※「加工売上高」は、売上高から材料費を除いたもので利益との相関が高いため開示しております。

6. 平成19年12月期通期連結業績予想の修正（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A) (平成19年5月18日公表)	32,000	600	400	400
今回予想(B)	30,000	400	200	△1,000
増減額(B-A)	△2,000	△200	△200	△1,400
増減率	△6.3%	△33.3%	△50.0%	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成18年12月期)	36,830	△43	△289	△4,123

7. 通期業績予想修正の理由

① 個別

下期においては、当社得意先のガラスメーカーが年末商戦向けに好調な生産が予想される液晶TV用大型ガラス基板に注力する中、当社はガラスメーカーとの更なる連携強化により中小型ガラス基板の受注の拡大を図るとともに更なるコスト削減を実行し利益を確保する所存であります。上期の業績結果を受け、上記のとおり通期の業績予想を修正いたします。

② 連結

個別並びに上期の業績予想の修正により通期の予想を修正しております。

8. 期末配当予想の修正

① 理由

平成19年2月28日付「平成18年12月期決算短信（連結・個別）」にて1株当たりの期末配当金を5円00銭と発表しておりましたが、平成19年12月期の業績予想の修正に伴い、誠に不本意ではございますが、今期無配とさせていただきます。

② 修正の内容

平成19年12月期（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

〔一株当たり配当金〕	中間	期末	年間
前回予想 (平成19年2月28日公表)	—	5.00円	5.00円
今回予想	—	0.00円	0.00円
前期実績 (平成18年12月期)	—	0.00円	0.00円

以上

〔業績等の予想に関する注意事項〕

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、業況の変化により、この資料に記載されている予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。